

伸・魅力通信

「根っこ」「土台」「出口の姿」を確認した幼小中一貫教育研修会(その1)

8月3日に、袋井あやぐも学園の保こ幼小中学校の先生方と、オンラインでつながって幼小中一貫教育研修会が行われました。若葉幼稚園の鈴木智代先生、袋井北小学校の杉浦有史先生、袋井中学校の奥村崇志先生をパネリストに、袋井市教育委員会すこやか子ども課幼児教育アドバイザーの深田勝先生をアドバイザーとしてお迎えし、「**学びに向かう力**」と「**幼児教育**」に関するパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、幼小中で共通している「子供理解」の大切さや、「根っこから土台そして出口の姿で子供を見取る」ことの重要性を確認することができました。





袋井市学校教育課村松指導主事からは、次のような指導講評をいただきました。

今回の幼小中一貫教育研修会を通して、点であった幼小中それぞれの取り組みが線としての**つながりを確認**することができました。例えば、**朝、見通し**を持たせることの大切さや、**ルール作り、合意形成**は、幼小中で大切にしていることでした。また、動画を通して、**幼稚園の先生方の子供の見取りや価値付ける力**のすごさを感じました。これらの力を磨くことができた今日の幼小中一貫教育研修会は、とても価値のあるものだと思います。

今回のパネルディスカッションの動画と、jamboardは、「Google 共有ドライブ→全校教職員共有→令和3年度→令和3年度袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会」の中に入っています。ダウンロードして視聴してください。